

★★着手おすすめ図書★★ (サピエ未着手 2026年5月21日現在)

次の図書は、2026年5月の選書委員会で選書の候補として挙がった本です  
(※原本は点図にはありません。着手希望の方は原本入手前に、着手可能か点図へご確認下さい)

- ①グズを直す本—こう考えれば、もうちょっと頑張れる <sup>なとりほうげん</sup> 名取芳彦 三笠書房 2026年3月 770円 仏教  
完璧主義、人見知り、見栄っ張りなどの愚図な一面を直すには？ 仏教の考え方を土台に説く。
- ②内乱記 カエサル 岩波書店 2026年4月 1,160円 西洋史  
紀元前49年、全ローマを揺るがす内乱から、ポンペイウスの死まで。カエサルが描いた不朽の古典。
- ③はじめての地経学 国際文化会館地経学研究所 <sup>けんきゅうしょ</sup> 朝日新聞出版 2026年3月 政治  
経済安全保障を踏まえ、現代世界を「地経学」から分析。時代を読み解く新しい手段を提供する。
- ④サイエンス日本史—時代を動かした「科学の力」 <sup>さまきたけお</sup> 左巻健男 集英社 2026年4月 1,050円 自然科学  
トイシ、建造物、鉄、品種改良、電池…。エピソードと共に、時代を動かした偉大な発明を解説する。
- ⑤女将有働由美子のおつまみレシピ帖 <sup>うどうゆみこ</sup> 有働由美子 ワニブックス 2026年3月 1,700円 家政学  
有働由美子が手料理を振る舞う、毎日放送「おしゃべり小料理ゆみこ」の公式レシピ集。
- ⑥なぜ日本人は、それを選ぶのか？ インテージ <sup>にほんじん</sup> 朝日新聞出版 2026年4月 950円 商業  
日本の消費者は何を求め、どこにお金を投じているのか。未来のトレンドの予測まで、読み解く。
- ⑦ムクは何を叫んでいるのか？ <sup>いのうえひびき</sup> 井上響 サンマーク出版 2026年3月 1,600円 絵画  
ムクの叫び、ゴッホのひまわり…。あの名画の、誰かに思わず話したくなる物語を紹介。
- ⑧いじわるな日本語—校閲の現場から <sup>にほんご</sup> 産経編集センター校閲部 産経新聞出版 2026年3月  
1,500円 言語  
すっぱ抜くの「すっぱ」って何？ 校閲記者の視点で言葉遣いを伝える。腕試しクイズ付き。
- ⑨顎十郎捕物帳 上・下 <sup>あごじゅうろうとりものちょう</sup> 上・下 <sup>ひさおじゅうらん</sup> 久生十蘭 中央公論新社 2026年3月 各1,200円 時代小説  
へちまなりの顎をぶらさげた北町奉行所例繰方見習。江戸の怪事件に、鮮やかな推理で大活躍。
- ⑩真逆なふたりが出会ったら <sup>まるい</sup> 丸井とまとほか スターツ出版 2026年3月 780円 小説  
ズボラ女と几帳面なお隣さん、完璧主義女と自由人など、真逆なふたりの出会いを描く3編。
- ⑪旅日記 上・下 <sup>たびにっき</sup> モンテニュー 岩波書店 2026年2月 各1,050円 紀行  
1580年、旅に出た。スイスやローマ各地の温泉、宿屋、食事、風景などを綴った旅行記。
- ⑫私的パワーワード辞典 <sup>してき</sup> 川添愛 <sup>かわそえあい</sup> 清流出版 <sup>せいりゅう</sup> 2026年4月 1,700円 エッセイ  
「やばい」は否定語か肯定語か？言語学者が綴るエッセイ集。
- ⑬きみの悩みに答える—10歳からの哲学の言葉160 <sup>ほしともひろ</sup> 星友啓 JTBパブリッシング 2026年  
4月 2,000円 哲学・児童書  
小中学生の悩みを取り上げ、哲学者・心理学者の言葉を紹介。行動を起こすヒントも伝える。
- ⑭運命は自分でつくる <sup>あいざわ</sup> 愛沢えみり 幻冬舎 2026年4月 1,500円 人生訓  
トップキャバ嬢から女性経営者へ。シングルマザーの著者が、主体的マインドについて綴る。
- ⑮日本の神々 <sup>にほん</sup> 松前健 <sup>まつまえけん</sup> 講談社 2016年1月 1,200円 宗教  
イザナギ、イザナミ、アマテラス、スサノヲ。古代国家成立の実像に迫った日本神話学研究の古典。
- ⑯地霊を訪ねる—もうひとつの日本近代史 <sup>ちれい</sup> 猪木武徳 <sup>いのきたけのり</sup> 筑摩書房 2023年1月 2,400円 日本史  
鉱山を旅し、その土地に沁み込んだ、今は亡き人々が発する声に耳を傾ける。歴史エッセイ。
- ⑰馬賊の「満洲」—張作霖と近代中国 <sup>ばそく</sup> 渋谷由里 <sup>しよぶにゆり</sup> 講談社 2017年6月 940円 アジア史  
馬賊から軍閥の長、そして元帥へ。張作霖と激動の歴史、近代中国と日中関係史を描く。

- ⑱シモン・ポリーバルーラテンアメリカ独立の父 <sup>くましろうおきむ こうろしや</sup> 神代修 行路社 2001年11月 2,400円 伝記  
軍人にして政治家、思想家にしてラテンアメリカの解放者、ポリーバルの評伝。
- ⑲自由民主党の誕生 <sup>ふくとみけんいち</sup> 福富健一 中央公論新社 2026年3月 1,800円 政治  
立党から70年。自由民主党誕生を実現した政治家たちの物語を描く。
- ⑳感染症と差別 <sup>とくだやすゆき</sup> 徳田靖之 かがわ出版 2022年3月 3,800円 社会  
弁護士である著者が、ハンセン病差別の多重構造や差別・排除の加害集団化などについて考察する。
- ㉑家族システムの起源1上・下 エマニュエル・トッド 藤原書店 2016年7月 4,200円・4,800円 社会  
世界各地の家族構造を研究してきた著者が、家族類型の起源と分化について論述する。
- ㉒ボクとおば〜のフシギな話1〜3 <sup>すぎさく</sup> 杉作漫画 ヤースー原作 リイド社 2023年7月 700円 漫画  
沖縄の霊能者・ユタの「おば〜」と、見える孫「ヤースー」の、ノンビリのちフシギな毎日を描く。
- ㉓漁港の肉子ちゃん1〜2 <sup>すぎさく</sup> 杉作漫画 <sup>にしかなら</sup> 西加奈子原作 幻冬舎コミックス 700円 漫画  
北陸の港町に流れ着いた母・肉子ちゃんと、小学生のキクリん。母娘と人々の息づかいを描く。
- ㉔韓国ドラマを深く面白くする22人の脚本家たち―「梨泰院クラス」から「私 <sup>わたくし</sup> の解放日誌」まで <sup>いてうおん</sup> ハンギョレ21ほか クオン 2024年7月 2,200円 演劇  
韓国のドラマ脚本家22人が、執筆の過程、物語への想いを語るロングインタビュー集。写真多数。
- ㉕夜なのに夜みたい <sup>おかのだいじ</sup> 岡野大嗣 集英社 2026年4月 1,700円 詩歌  
岡野大嗣の短歌とエッセイを収録。『すばる』連載を単行本化。
- ㉖四重奏 <sup>しじゅうそう</sup> 浅井民子 <sup>あさいたみこ</sup> 本阿弥書店 <sup>ほんあみ</sup> 2017年8月 2,800円 詩歌  
「帆」主宰の第2句集。
- ㉗まだまだです 歌集 カン ハンナ 角川文化振興財団 2019年12月 2,600円 詩歌  
韓国から日本に来て8年の大学院生による第1歌集。
- ㉘カジョクのうた―韓国から来て、日本 <sup>にほん</sup> で暮らす私が見つけた家族の形 カン ハンナ 角川文化振興財団 2026年3月 2,200円 詩歌  
「カジョク」とは、韓国語で「家族」。日本語で短歌を編む韓国出身の著者による短歌とエッセイ。
- ㉙ハロー、マイ・ユーマン―荒井由実 & 松任谷由実 & 呉田軽穂 <sup>あらいゆみ まつとうやゆみ くれだかるほ</sup> 歌詞集 松任谷由実 ポプラ社 2025年11月 3,800円 詩歌  
デビューから53年、ユーマンのすべて。全楽曲を再校正した歌詞集。直筆歌詞&創作秘話も収録。
- ㉚ミライチョコレート ザ・キャビンカンパニー 白泉社 2024年1月 1,500円 絵本  
世の中からチョコレートがなくなった千年後の世界では…。チョコレートのことを学べる絵本。
- ㉛わすれぽんたくん <sup>しばた</sup> 柴田ケイコ <sup>けんきゅうじよ</sup> PHP研究所 2025年12月 1,600円 絵本  
わすれものが多いぽんたくんは、ある日、ランドセルをわすれて…。「ばなしくん」に続く第2弾。
- ㉜エルギスキへの旅 <sup>もりしたかつひと</sup> 森下一仁 プターク書房 2025年4月 2,300円 小説  
30年以上前の作品、シャーマン（呪術師）文化と科学を融合させた傑作長編SFを、書籍化。
- ㉝徒然草 方丈記―日本古典は面白い <sup>にほん</sup> 大伴 <sup>おおともぼうじん</sup> 茫人 筑摩書房 2007年7月 680円 エッセイ  
日本古典を読みはじめたい、もう一度読みなおしたい、と思う読者のための古典入門書。
- ㉞ロダンのココロ国語辞典―と、言葉をめぐる僕の視点 <sup>うちだ</sup> 内田かずひろ 大和書房 2024年4月 1,500円 エッセイ  
ロダンの漫画と、著者の毎日をユーモラスにつづるエッセイで編む、国語辞典。